

しめ 議会だより



▲庁舎見学に来た 中央小学校 3年3組のみなさん（議場にて）

No. 49
6月定例会

「福祉の充実をめざし」議案審査	2
委員会報告…常任委員会視察研修費 半減	4
一般質問 ここが聞きたいズバリ町政を問う	6
公開 議員研修会「福岡空港問題について」	11
あの質問は どうなったの？	12
被災地へ義援金をおくりました……3 後期高齢者医療制度撤回の意見書採択……10	

しめ議会だより 第49号

◇発行・福岡県志免町議会 ◇編集・議会広報特別委員会 〒811-2292
◇発行日・平成20年8月1日 ◇印刷・九州チューエツ株式会社

福岡県糟屋郡志免町志免中央1丁目1-1

わが町のきらっとさん!

「志免町子ども読書推進計画」の策定は議会でも要請しました。その取組の一つとして、学校での「よみかせ」ボランティアの育成第1号のグループを紹介します。地域の大人・親の顔がみえる、ふれあい学習の場として各校区に広がっていくといいですね。



読み聞かせボランティア 「えほんやさん」

▲読み聞かせボランティアのみなさん ▲小道具を使って絵本の読み聞かせ

昨年の図書館読み聞かせ講習を受けられた南小学校の保護者12人が、授業前の8時25分から15分間のいきいきタイムの時間を利用して月1〜2回全学年に読み聞かせを行なっておられます。子どもに読書のすばらしさを分かってもらうため、小道具などみんなで集って作っておられます。

「始めたころはドキドキしましたが、子どもの笑顔や地域の中で、声を掛けてくれたり、話を聞いていないと思っていた子どもが「おばちゃんもつと読んで」と話し掛けてくれたり、顔を覚えて接してくれるのがとても嬉しい」とのことでした。

始まったばかりですが、子どもたちは絵本に興味を示し、図書室によく立ち寄るようになったとのこと。

お知らせ

政治家は、暑中見舞い等の挨拶状を出すことが禁じられています。

政治家は、選挙区内ある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、暑中見舞状などの時候のあいさつ状（電報なども含まれる）を出すことは禁止されています。

また、初盆や夏まつりなどへ金品を持参・要求することも禁止されています。

お知らせ

次回の定例会は9月5日予定

傍聴に是非お越しく下さい。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

19年 議会傍聴者延べ人数

年月	議会名	傍聴者数
19年3月	定例会	29人
19年5月8日	臨時会	2人
19年5月30日	臨時会	0人
19年6月	定例会	44人
19年9月	定例会	48人
19年12月	定例会	30人

「議会だより」についてのご意見をお待ちしております。
TEL 935-1001 FAX 935-7070
議会事務局は町役場4階です。
E-mail: gikai@town.shime.lg.jp

福祉の充実をめざし

議案審査 ~主な議案~

第3回
定例会

平成20年度補正予算 一般会計 賛成多数で採択 (賛成10・反対5)

一般会計
5,294万円増
総額95億6,496万円

- 特別会計補正
- ・国民健康保険 全員賛成
2億4,250万円増 総額46億250万円
 - ・老人保険 全員賛成
2,949万円増 総額3億9,878万円

- 主な一般会計補正
- ・税源移譲による住民税の還付 **3,700万円**
18年度の税制改正に伴い19年度分の個人住民税の減額措置1,263人分
 - ・乳幼児医療費補助分 **999万円**
県の公費助成、対象人数3,400人分
 - ・田富37号線湧水処理工事 **1,240万円**
特定鉱害応急対策補助(全額)により道路改良舗装を行う
 - ・物件補償費 **102万円**
水路転落事故示談金



岩手・宮城内陸地震の被害状況

中央分団の 消防ポンプ 自動車の取得

平成20年度空港周辺整備事業助成金の交付を受けて購入するもの。
価格 1,677万円(助成50%)
5社による指名競争入札で3回の不調、随意契約で予定価格に一番近い、(株)モリタ福岡支店が落札



中央分団のポンプ自動車

継続審査 ごみ処理手数料の 見直し

※減量への動機付けと、ごみ量に応じた費用負担を求めるもので、短時間で結論を出せないため継続審査となった。

- ・ごみ大袋 30円↓50円
- ・ 中袋 18円↓30円
- ・ 小袋 15円↓18円

(平成21年4月1日より)

農業委員会委員2人推薦 志免町初の女性農業委員誕生

熊本廣議員、丸山真智子議員

岩手・宮城内陸地震被災地へ 義援金15万円送金

6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震において甚大な被害を受けた皆様、自治体に心からお見舞い申し上げます。
志免町議会として支援を検討し、町職員へも協力要請を行い、議員・職員有志で義援金15万円を桑原市佐藤市長宛に送金しました。

どう変わるの！公費医療助成制度

①乳幼児医療

対象を5歳未満から義務教育就学前までに拡大。
自己負担(初診料・往診料)が通院で月上限600円、入院で最大3,500円に改正。
対象者3,400人。

○全員賛成

③重度障害者医療

心身障害に精神障害(手帖1級所持者)を加える。65歳以上(後期高齢者医療対象)に新たな負担。初診・往診の自己負担はなくなるが入院一般500円/日(月20日限度)低所得者300円/日(月20日限度)

○賛成少数(賛成7・反対8)で否決

②母子家庭等医療

3歳~18歳の年度末まで義務教育就学後~18歳の年度末まで対象を父子家庭に拡大
名称をひとり親家庭等医療に改める
一人暮らしの寡婦助成の廃止
自己負担
通院800円/月(上限)
入院500円/日(月7日限度)

○賛成多数(賛成14・反対1)

反対討論

丸山議員

制度の改正で対象者に精神障害者1級の方も追加され充実された面もあるが、65歳以上の入院に新たに自己負担が増える。施行は10月1日であり、独自に助成制度を設けてもらいたい。弱者に対する負担増には反対。

賛成討論

大西議員

初診料と往診料がこれまで自己負担だったのが、500円の定額制となり、かえって負担は軽くなる。県の制度に合わせ受け入れなければ、町の負担が増える。一度県の制度に合わせておいて町の助成での拡大をしていく事が大事であり賛成。

損害賠償の確定について

16年7月13日志免町中央2丁目の水路転落事故の示談金確定。本人の過失30%を差し引き損害額537万円。

○賛成多数(賛成10・反対5)



事故現場の事前と事後

中央小学校補強・大規模改造工事決まる

特別教室・北棟・仮設校舎の増築
工期 平成21年2月末日
金額 3億2,833万円
(アルシス・小柳特定共同企業体が落札)

○全員賛成

総務文教常任委員会

小・中学校連携

平成20年度の志免町教育行政の目標と主要施策の一つであり、小・中連携の取り組みを行うことで、教員同士の連携体制を築きつつあり、お互いの情報を共有し合い、教育課題が明らかになってきたことは大きな成果。

学校給食は

4月から食物アレルギー対応の給食が実施されている。内容は当面、卵・乳製

品・落花生・ごまの除去から取り組み、調理の最終段階で取り除き、牛乳は停止する。

食材の値上がりの対応は、各学校の栄養士で調査研究中。

志免中学校は年間10日前後、弁当の日を検討することのこと。

入札制度のあり方

一般競争入札の実施が契約の透明性や公平性を保つ方法と思われるが、地元業者の育成の観点か

最も制限価格制度、総合評価制度を取り入れてはどうかと提言したが、今の町の職員体制では無理という答弁。

入札のあり方はベストの制度はないが、地元業者の育成も大切にしながら、行財政改革の検討課題であるので、入札のあり方の問題・価格の問題・法令遵守・入札監視委員会などの制度を含めて再度検討するよう要請。



▲入札会場内

厚生常任委員会

4月30日の委員会の中で副委員長に西川議員が就任



▲新設された東学童保育所

医療制度改革と健康づくり

後期高齢者医療保険料の決定通知は、特別徴収分だけ1,921件発送し、苦情等も来ているが制度の説明を行い、納得していただくように努めている。

特定健診・保健指導については、40歳から64歳の対象者3,643人で一人当たり健診単価は3,900円で個人負担500円。65歳から74歳の対象者は2,929人。生活習慣病の予防や改善に結果が求められる。

コミュニティのへの設置

松ヶ丘団地は県営住宅なので議会として県へ意見書を提出。県としては対応できないとの回答。

委員会として、補助金等の調査を行い、可能性を探り最大限に努力をしたが、県で対応してもらえないことは難しいとの結論。

保育園民営化

4月1日から別府つくし保育園としてスタートし、委員会から強く要請していた別府保育園の嘱託職員の採用については14人(保育士11人、調理3人)が採用され、その内4人は正規職員となる。多くの保育士が残ったことにより、園児にとっては環境の変化が少なくなっている。

学童保育は

5月1日現在、待機児童は中央17人・東8人・西3人となっており、待機児童解消のため空き店舗の活用等の調査研究をするよう要請。

次世代育成支援行動計画

評価については各担当課で行い、広報やホームページで公表を行った。委員会として外部評価も必要ではないかと提言。

町の重要な問題を 委員会

建設常任委員会

水道事業の経営

御笠川の河川改修も終わり、集水管の新設で、きれいな水が取水されている。19年度、4回の漏水調査を行ない、管延長は136km、11件の漏水修理済み。20年度は下水道関連配水管布設替工事12件、単独8件。

下水道事業の状況

20年度、下水道築造工事11件予定。5月末現在処理区域内人口3万3,246人に対し、水洗化人口3万976人で、水洗化率93.17%。

都市計画街路

志免・宇美線

本年度宇美町の土地買

桜丘団地の公共下水道接続

取のため4億5,000万円の事業費内示。4月30日に地元代表者に町の考え方について説明をしたとの報告を受けた。



▲竣工時(昭和46年)の桜丘下水処理場

議会運営委員会

委員会視察研修については、地方分権の時代に議員の資質向上が望まれ、研修も大事になってくる。

委員会視察研修制度の確立と推進を図っていくこととし、4常任委員会の現行の視察研修費を半減するということで全員賛成により議長に答弁。会派制について、志免町議会基本条例策定に関しては引き続き調査研究をすることとした。

福岡都市圏広域行政調査特別委員会

休会としていた志免・宇美・須恵3町の合同委員会について5月12日に須恵町で3町正副委員長会議を開催。正副委員長会議だけは定期的に開催する。空港問題については、委員会の中で協議していく。

志鋺跡地対策特別委員会

平成20年6月3日、3町代表者会議を開催。ボタ山開発については土地貸付料金問題について、現在3町(志免・須恵・粕屋)の足並みがそろわず、また経済情勢が厳しい折、具体的な対策は進んでいない。今後の利用方針について提案され、売却・借地などの意見が出され、公共的な利用に限り借地できる利用方針を決定した。

議会広報特別委員会

第48号発行に関して、7日間の編集委員会を開く。新年度の入札で新たに(株)九州チューエツが決まり、編集方針、日程の打ち合わせを行う。48号から、議員から出された一般質問の追跡事案、裏面には住民の声を反映する取り組みで、個人・団体の活動を掲載することとした。

ここが聞きたい

ズバリ町政を問う

一般質問は議員個々の自由編集（会議録にもとづき）で掲載しております。全文は会議録をご参照ください。掲載順は質問順としています。

窓口サービスの向上

役場あげて

答弁：再点検厳しく取組む



牛房 良嗣 議員

牛房 役場には年間10万人を超える町民が要件のため足を運ぶ、職員の努力で窓口サービスは年々改善されてきたが「役場には緊張感がない、対応もよくない」など町民の厳しい目と声がある。職

- 員に対する指導は。
- 町長 指摘を真摯に受けとめ職員の危機感が、住民に伝わる窓口対応の改革を進めていく。
- 牛房 ごくごく基本的取組みを提案する。
- ①元気な挨拶と分りやすい丁寧な説明を。
- ②課内及び机上の整理整頓、カウンターに花一輪。
- ③来訪者のたらい回しは絶対するな。
- ④受話器を取ったらず課名と氏名を。
- ⑤椅子に座っての対面対話、全庁ローカウンター設置。
- ⑥申請・陳情には必ず回答を。
- ⑦課長も率先窓口対応に立つ。
- ⑧対応したら必ず用件メモ電話メモの記録をとる。



▲庁舎窓口の応対

認可外保育

町の支援の考えは

答弁：今後の検討課題



助村 千代子 議員

助村 町の認可外保育所は、県の厳しい指導監督基準を満たしているところがほとんどで、質の高い保育ができるよう努力をされている。

できないものか。
町長 厳しい財政状況の中で、子育て支援事業には努力をしなければと思っ

形成がしっかりとできる5歳児で8%、9%の割合で見つかるといわれているので、早期発見で早期療育に継げるために5歳児健診の導入を。
町長 福岡県内で5歳児健診を実施している自治体は4つある。

発達障害の早期発見を

答弁：新規健診は難しい

助村 自閉症、学習障害等の発達障害は3歳までは見つけにくい。脳の

現在実施している巡回相談の検討を行い就学前のサポート体制を検討する。



▲町内の認可外保育所4園のうちの1園

準備会の立ち上げを

協働の拠点

答弁：一つの方法である



丸山 真智子 議員

丸山 協働のまちづくりのための拠点づくり、コーディネーターの配置が実現しない。準備に一年はかかる。早く立ち上げを。総務課長 コーディネーターは人材探しが課題と思う。

町長 協働を進めるにはまちづくりやボランティアの活動拠点を設置してコーディネーターを配置することは急務である。早急に行けるところから整備したい。

い。やる気が足りない。
町長 行政の知恵だけでは特産品に結びつかない。実際だれかやるのか人の問題、環境の問題ではないかと思う。努力はしていきたい。

特産品開発が進まない

答弁：望みは捨ててない

丸山 産業振興の点からJAと商工業者を仲介するのは行政の役割と思う。提案しても実行されな

（その他の質問）

- ふるさと納税制度
- 子ども・学校の安全
- 遊びの指導者養成



▲田富JAふれあいの里

事業仕分け

一般公開で実施せよ

答弁：現制度の定着に全力



大西 勇 議員

大西 内部だけの事業評価では限界がある。外部の評価委員と担当者で事業の必要性や改善点など吟味し、事業の仕分けを公開の場で実施することが必要。公開する

事によって職員の仕事への目的が明確になり、意識改革、レベルアップにつながる。

取量は約20万トンとわれている。あとの量はごみとして捨てたり、下水等に流している。新宮町は業者と連携して廃油燃料を活用している。約121円程度。本町でも研究の必要がある。

廃食用油の燃料化を

答弁：さらに研究をする

大西 廃食用油は全国で年間約47万トン発生し、回

約80トンがゴミとなっており、ぜひやっていかなければならない。さらに研究する。



▲廃食用油リサイクルシステム図



▲シルバー大学の講習会の様子

人材育成

協働大学等の開学を

答弁：取り組んでいく



堤 久美子 議員

堤 宗像市は大学と連携して住民（協働）大学を開設している。志免町は大学はないが、豊富な人材を講師に招いて、一般教養、専門知識を身に付ける講座を開設して欲しい。

総務課長 専門的知識、技術を必要とするような分野まで及ぶことは大事だが町が担うのが妥当かどうかだ。

町長 私どもの環境の中で、専門的な知識を勉強し、右腕になっていただける方がたくさんいることはまちづくりに非常に有意義で、個性豊かで活力に満ちた地域社会が展開できる。取り組んでいく。

条例の制定

男女共同参画社会を

答弁：条件整備まだ不十分



二宮 美津代 議員

二宮 平成8年からこれ迄何度も提言した条例制定に、町長は何を逡巡されるのか。行政として都合が悪いのか。条例化し総合的施策とすべきでは。町長 男女共同参画は非常に重要な案件であると

認識している。条例制定を否むものではないが、町民の意識が醸成されていない不十分な中で拙速にならずともよいと思う。第5次総合計画策定（平成23年）後検討したい。

町長 長い間培ってきた貴重な経験や技術、知恵を今の時代に生かしてもらうすべはないか、どのようなニーズがあるのかぜひ調査し、人材発掘にもつなげたい。

団塊世代のニーズ調査

答弁：ぜひやりたい

二宮 シニア世代の男性が定年後の地域活動にどういう意識をおもちか、アンケートをとる考えは。



▲男女共同参画による「まちづくり事業」についての講習会風景

（その他の質問）

●小型貯水槽の管理。その実態把握と情報の提供



末藤 省三 議員

末藤 鳥インフルエンザH5N1型の人への感染が相次いでおり、人から人へ感染する新型インフルエンザが大流行した場合2,500万人が医療機関で受診、健康課、学校

教育課、子育て支援課の対策をどう考えているか。健康課長 今年度よりフェーズ4の対応が国から示され県や保健所での体制づくりをすすめて、住民に感染症が拡大しないよう対策をとっていきたい。

重ねただけで今まで入っていた国保や健保から追い出され、保険料は年金から天引き、払えない。高齢者から保険証の取り上げ、健康診断から外来入院、終末期まで安上がりの差別医療を押しつけるひどい制度で、町民の怨嗟の声が聞こえないか。



▲後期高齢者医療保険証

新型インフルエンザ

答弁：ガイドラインで対応

感染症対策

末藤 後期高齢者医療制度は、75歳という年齢を

後期高齢医療廃止せよ 答弁：制度の制定が必要

町長 医療制度を制定しなければならなかった背景を考えなければならぬ。

議員研修会 開催

テーマ 福岡空港は 移転か 増設か



国・県・市の担当者



議長挨拶



研修会 質議のようす



資料による説明のようす

活発な質議が行なわれる

福岡市に隣接する志免町にとつて、空港問題は重要なテーマであり、議会としてしっかり精査する必要があるとの意味で研修会を開催した。

6月2日、国土交通省、福岡県、福岡市、空港調査委員会から講師を派遣して頂き、議員研修会を開催。

特に今回は、町内会長会、町職員にも参加を呼びかけた。

議長挨拶に始まり、その後PIレポ^{※注1}トステッ^{※注2}プ3までの調査結果の説明を受けた。

この段階では、将来需要への対応方策として、

- ① 近隣空港との連携について
- ② 現空港における滑走路増設について
- ③ 新空港について

この3パターンでの検討がなされていった。

参加者から、社会環境の変更によって需要予想の変更はあるのか、ハブ空港としての考えて調査しているのか、近隣空港との連携について、空港周辺自治体でPIを行なっていくのか、移設した場合の個別収支について、地下鉄の存続について、また新空港の場合、漁業補償はどのくらいか、PIを行なう中、現空港を残すと言う人の割合はどのくらいか、などの質問が出された。

注1. PI（パブリックインボルブメント）
空港調査内容などの情報を積極的に提供し、意見を聞きながら、検討を進めて行く方法。



要望・陳情・請願・意見書

請願	請願者	内容	採決結果
教育予算の拡充を求める意見書提出に関する請願書	柚上 孝子	<ul style="list-style-type: none"> 義務教育費国庫負担制度について、国庫負担率を2分の1に復元し、制度を堅持する。 学校施設整備費、就学援助奨学金など教育予算充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充する。 人材を確保するため、教職員給与の財源確保・充実 	全員賛成で採択 国へ意見書を提出
「コミュニティのへや」設置に関する請願	松ヶ丘町内会 会長 安松迪雄 ほか	県営松ヶ丘団地に、介護予防や高齢者の生きがい事業など福祉環境の拠点となる「コミュニティのへや」の設置を強く要望する。	厚生委員会で継続審査

意見書	提出者	内容	採決結果
子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書	助村 議員	<ul style="list-style-type: none"> 子宮頸がん予防ワクチンの早期承認 予防ワクチンが承認された後は、その推進を図るために接種への助成を行う。 	全員賛成で採択 国へ意見書を提出
後期高齢者医療制度の中止、撤回を求める	末藤 議員	後期高齢者医療制度をすみやかに凍結し、国民が安心できる医療制度を国民的な合意のもとでつくるよう、強く要請する。	賛成多数で採択 国へ意見書を提出

後期高齢者医療制度の中止、撤回を求める意見書に3人が討論!

<p>賛成討論</p> <p>牛房議員</p> <p>4月にスタートして3ヵ月、制度上の問題が次々と噴出し、小手先の手直しや修正のみでは国民の信は得られない。</p> <p>高齢者は、将来の医療や治療について不安や心配でいっぱいである。</p> <p>戦後、焼け野原から裸一貫、経済大国の基盤をついた立役者である高齢者の願いは、血の通った制度にして欲しい。真に長寿を喜べる社会にして欲しいという願いのみ。</p> <p>安心して最後のステージを迎えられる制度の構築を心から切望し、賛成意見とする。</p>	<p>反対討論</p> <p>大西議員</p> <p>廃止法案を出すなら対策を提示するべき、又高齢化が急速に進む中で先送りは断じて許されない。さらには、国民健康保険に戻す事によって地域で最大5倍の保険料の格差が生じる。</p>
<p>賛成討論</p> <p>末藤議員</p> <p>医療費削減を目的にして75才以上の高齢者を差別する事は許されない。後期高齢者制度を作った国は、世界のどこにもない。医療という人間の命に関わる問題で高齢者を差別する制度は一刻も続ける訳にはいかない。</p> <p>又、この制度は存続すればする程、ますます痛みを高齢者と国民に押しつけ、あらゆる世代に負担増と医療切り捨てが押しつけられる。害悪ははかり知れないものがあり、制度の根本が間違っている以上、撤廃するしか解決の道はない。</p>	<p>ようやくまとまってきた新しい制度について、根っこから崩すようなやり方には賛成できない。</p> <p>骨格は維持しつつ、問題のある所は改善し、制度を定着していく事が望ましい。</p> <p>一日も早く国民が安心して暮らせる制度の構築を訴え、反対とする。</p>

臨時議会

5月8日 臨時議会を開催。

19年度老人保険特別会計補正予算

3月議会終了後、医療費の増加により現予算の不足が判明。歳入歳出に1,593万円を追加。

全員賛成

町税条例の一部を改正

地方税法を改正する法律が公布され、施行されるため町税条例の一部を改正。

賛成多数(賛成14・反対1)

国民健康保険条例の一部改正

後期高齢者支援金が新設され、それに伴い医療分の税率を改正。

賛成多数(賛成11・反対4)

議会あれこれ



▲議員研修会

6月議会 初日・最終日 傍聴者1名!

6月の新聞記事に「地方分権で議会の役割増、議会自ら古い殻を破り始めた」と地方議会の動向が報道されました。また今年も全国町村議長研修会の主テーマは議会改革でした。

地方議会も本気で改革に動き始めたのです。先般、町内のある団体の総会で、私は「これから

の自治は、町民と行政との協働のトライアングルがいに構築されているかによって自治体間の差が歴然とし、住みやすい町かどうかが決まる。皆さまの議会をもっと見て欲しい」と申し上げました。

昨年の「合併問題」の公聴会・意見交換会に続き、今年6月には議員研修会「テーマ・空港問題」を開催し、町内会長・町職員の皆様にも参加を呼びかけ課題を共有いたしました。

ケーブルテレビでの議会放映も実施しております。根回しに代表される、閉ざされた中で動く議会ではなく、公の場で、真剣で建設的な議論が堂々と展開される議会の構築こそこれからの町の発展には不可欠なのです。

「古い殻をどう破るか」議会の課題であり町の将来への課題でもあります。どうか皆さまの鋭い眼を議会に議員に向けて下さい。

※議会へのご意見をお待ちしております。
◆議長へのメール：simegityo@yahoo.co.jp

西東京市 市議会

6月27日に西東京市(東京都)市議会文教厚生常任委員会10人、事務局1人を受け入れました。議会から、議長、厚生常任委員長、事務局長が出席。

子育て支援課による説明がなされ、その後、質問、情報交換を行いました。条例制定までの取組みで、「子どもに権利を与えること」で、問題となる事案はなかったのか」など制定への課題を熱心に質問されました。子どもの権利救済のシステムや子ども

もの居場所づくりが、条例によってスムーズに立ち上がっている事など感心された様子でした。

7月1日に議会定例会会議録のホームページ掲

熊本県大津町 町議会

載と議会運営全般についての視察で熊本県大津町町議会運営委員会が来庁されました。

議長歓迎挨拶の後、局長・総務課長が研修事項について説明。会議録をホームページに掲載することへの懸念などの質問がありました。

情報交換のあと、シーメイト、堅坑槽を案内しました。



▲熊本県大津町 町議会の皆さま

より一層 志免町議会へ

九州初「子どもの権利条例」制定や議会改革について、全国の議会より研修来庁が多くなっている。その行政視察団を紹介しします。(6・7月分)

追跡...あの質問は どうなったの?



▲会計課横の情報室

協働への取り組み 町政図書室の設置

協働を進める上で情報の共有はかせない。行政資料等がすぐ閲覧できる配慮を。
[二宮議員・平成19年9月定例会での質問]

20年3月より設置

1階会計課横に情報コーナーとして設置された。

健康保険証に臓器提供の 意思表示欄を

日本では臓器移植、提供が進んでいない。そのため外国に行って膨大な費用をかけた一部患者しか助かっている。臓器移植を必要とする患者がいる。臓器提供の啓発運動の一環として是非実施して頂きたい。

[大西議員・平成19年1月定例会での質問]

20年4月より実施

3月の保険証の切替時に意思表示欄を設けた、新しい保険証が作成された。



▲意思表示欄を設けた新しい保険証